

労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）

平成22年10月～12月期平均及び平成22年平均結果の概要（広島県）

平成23年3月3日
統計課

※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別四半期平均結果（モデル推計値）を公表しています。
この概要は、平成23年3月1日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。
次回の総務省統計局の公表（都道府県別結果平成23年1月～3月期平均）は、平成23年5月31日の予定です。

〔完全失業者・完全失業率〕

・広島県の平成22年10月～12月期平均の完全失業者数は 5万9千人と、前年同期（6万5千人）に比べ6千人(9.2%)の減少。（図1参照）

また、平成22年平均の完全失業者数は6万1千人と、前年（6万4千人）に比べ3千人（4.7%）の減少。

・広島県の平成22年10月～12月期平均の完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は4.0%と、前年同期（4.4%）に比べ0.4ポイントの低下。都道府県別では低い方から14番目。

また、平成22年平均の完全失業率は4.2%と、前年（4.4%）に比べ0.2ポイントの低下。

〔就業者〕

・広島県の平成22年10月～12月期平均の就業者数は 140万3千人と、前年同期（140万6千人）に比べ3千人（0.2%）の減少。14期連続の減少。（図2参照）

また、平成22年平均の就業者数は140万人と、前年（140万3千人）に比べ3千人（0.2%）の減少。4年連続の減少。

